

令和4年度 水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム  
大規模フォーラムの開催について（案）

## 1 目的

今年度から始まる「第4期かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画」を県民へ広く周知するとともに、県民と協働して取組を進めていく気運を醸成することを目的として開催する。

## 2 コンセプト（パネルディスカッションのテーマ）

これまでの取組と成果を共有し、水源環境の将来像を描く。

すべての県民に向けて、これまでの施策の取組と成果を周知し、また、第4期の重要性を伝える。県民に水源環境の将来を考えるきっかけにしよう。

## 3 キャッチコピー（未定）

- ・未来につなげよう、水源林の恵みを！
- ・おいしい水はゆたかな森のしずくから
- ・つながれ 森・水・みらい
- ・森と水を守る神奈川の挑戦 今そして未来に向けて

## 4 日時

令和4年11月20日（日）13:00～16:00（予定）

## 5 会場

未定（オンライン開催のため、会場には、通信設備、出演者、県民会議委員、事務局、委託業者のみが参加する）

## 6 参加者数及び対象者

### （1）参加者数（予定）

400名程度（大規模ミーティング or ウェビナーのオプション利用を想定）

### （2）対象者

公募の一般参加者、市民団体、企業、県民会議委員及びOB、外部有識者、森林組合等の事業関係者、市町村の事業担当者等

7 企画内容（プログラム）（案）（今後、県民会議とも調整を図っていく。）

	時 間	内 容
1	13:00~13:10(10分)	開会挨拶 ○知事（ビデオメッセージ）
2	13:10~13:40(30分)	『第4期かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画』説明 ○水源環境保全課 ※映像の使用（15分程度）
3	13:40~14:10(30分)	市民団体の活動紹介 ○市民団体が行っている活動紹介（市民事業専門委員会）
4	14:10~14:30(20分)	休憩
5	14:30~16:00(90分)	パネルディスカッション（テーマ：これまでの取組と成果を共有し、水源環境の将来像を描く） ○森林再生パートナー企業 ○市民団体 ○県民会議有識者委員（1名） ○県職員（現場の研究職員（予定）） □コーディネーター（県民会議委員（公募））

※各回に適宜 ZOOM 内コメントの質疑応答を入れたいと思います。

※司会の検討をお願いします。（情報発信チーム）

<参考1> 前回（平成28年度）の大規模フォーラムとの比較

	前回（平成28年度）	今回（令和4年度）
コンセプト	これまでの取組・成果の 延長線上にある明るい未来を語る	これまでの取組と成果を共有し、 水源環境の将来像を描く
キャッチ コピー	ともに築く水源環境 ～かながわ910万人の挑戦～	
目的	① 第3期計画の周知 ② 県民と協働で取り組む気運の醸成	① 第4期計画の周知 ② 県民と協働で取り組む気運の醸成
開催時期	計画策定後（平成28年11月）	計画策定後（令和4年11月）
司会	業者の候補者	情報発信チーム
パネリスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>○林業家 （有）杉本林業</li> <li>○森林再生パートナー企業 キリン(株)</li> <li>○市民団体 NPO法人海の森・山の森事務局</li> <li>○県民会議有識者委員 埼玉大学大学院理工学研究科教授 浅枝 隆（副座長） 東京大学名誉教授 鈴木雅一（委員）</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>継続的な県への寄付と森林ボランティア活動により「水源の森林づくり」に協力をいただいている「森林再生パートナー企業」の幹部と、現場での活動をサポートする「市民団体」代表者をパネリストとして、積極的な保全活動状況などについて議論した</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○森林再生パートナー企業</li> <li>○市民団体 ⇒キャッチコピー、テーマに応じてできれば市民事業補助金関係の団体から1名</li> <li>○県民会議有識者 ・パネリスト ⇒キャッチコピー、テーマに応じて施策調査専門委員会の委員から1名</li> <li>○県民会議公募委員 ・コーディネーター</li> <li>○県職員 （現場の研究職員（予定）） ⇒事務局対応</li> </ul> <p>※（前回の会議内）大学生のパネリスト追加について検討</p>
参加者数	定員 400名 （参加者数 356名）	定員 400名

## <参考2> 検討に当たってのポイント

### ■ 企画のポイント

#### ①県民と協働して取り組む気運を高めるための内容や演出

⇒水源環境の目指すべき姿（明るい未来）について来場者と共有（パネルディスカッションの中で討論）

#### ②400名規模の集客が見込めるプログラム内容

⇒出演者の所属・関係者の動員力（「広報」も重要）

#### ③視聴者の満足度を高める要素

⇒第4期5か年計画の説明の分かりやすさ（映像の使用）

⇒参加者とのコメントを通じた双方向のやり取り

#### ④次なる展開、今後につながる要素

⇒市民事業、森林づくりボランティア、森林再生パートナー制度など、県民参加活動のPR

### ■ パネルディスカッションについて

資料1-2参照

### ■ 知事（ビデオメッセージ）について（考え方）

大規模フォーラムは、第4期5か年計画を新たに策定して、その財源を個人県民税の超過課税（水源環境保全税）とし、令和4年度から実施することについて、広く県民周知を行い、県民と協働で取り組む気運の醸成を図るための中核的行事ともなることから、当日知事のビデオメッセージを開会のあいさつとして行う。

参考：知事出席行事について

知事出席行事は、あいさつ、表敬訪問、表彰式、賀詞交換、記念式典、国際関係、国関係、ミュージカル鑑賞等の行事のほか、県主催イベントへの出席もあるが、県主催のシンポジウム、フォーラム等への出席の実績はそれ程多くない状況。